



「はらわた力」を持った  
チャレンジ精神あふれる人財



はらわた：現実社会で直面するさまざまな土壇場や自己実現の執念や想いを乗り越え、成し遂げるために、もがき苦しむチカラであり、紆余曲折しながらも最後に這い上がろうとする一念のこと。

# 「源流」の精神を 体現する人財の育成

PPIHグループには、明確な人財育成システムは存在せず、従業員を信じて任せる権限委譲というシステムのもと、基本的にOJTの繰り返しで人財育成が進みます。人財育成において大切にしている考え方は、「教育」「共育」「競育」の3つの概念です。業務に必要な最低限の知識や最小限のルールを学んだ後は、実践を通じて成長していきます。個性や価値観の違うほかの従業員とともに働くことで、自分の視野を大きく広げながら、完全実力主義の人事評価制度によって、従業員の間が良い形で競争が生まれ、互いに切磋琢磨してスキルを磨いていきます。成果によって適正な評価がされると、従業員は「もっとやりたい」という意思が芽生え、互いに競い合いながら、仕事をワークではなくゲームとして楽しむ力を養っていきます。

また、当社グループには「失敗を容認する企業文化」が根付いています。どんなに失敗しても、その失敗を力に変え行動できる人財こそ、変革を起こすことのできる人財です。このような環境で育成された当社グループの従業員は、お客さまのために変革を起こすことのできる「はらわた力」を持った人財として成長していきます。

## 人は育てるものではなく、自ら育つもの



失敗しながら  
積み重ねた  
成功体験

## 失敗を容認する企業文化

入社後、店舗に配属された従業員は、それぞれが担当する商品や場所を決め、その空間を自分でアレンジしてもらいます。どのような商品をどう並べるか、価格設定はどうか、すべてを自分の判断で行います。たとえ判断を誤って赤字になったとしても、失敗をとがめることはしません。多くの企業が新人研修に費用をかけていますが、当社グループは失敗による損失を「教育コスト」として捉えています。

## 入社



### 履歴書完全撤廃

人物重視の採用を徹底するため、新卒採用における履歴書の提出義務を撤廃しています。

### グループ共通の人事評価制度

#### 完全実力主義

年齢、性別、国籍など、本来仕事の成果や能力と関係ないことは一切評価の対象とせず、仕事の成果を公平に評価し、適材適所な人員配置をしています。

#### 半俸制

半期ごとに査定があるため昇進・昇格のスピードが速く、入社後半年程度で買い場責任者に抜擢されるなど、能力次第で活躍の場が広がります。

